

仕 様 書

サーキュラーエコノミー部

1. 件 名

カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／カーボンリサイクル・次世代火力推進事業／産業間連携によるカーボンリサイクル技術実装推進事業

2. 調査目的

2023 年 6 月に経済産業省において改訂された「カーボンリサイクルロードマップ」では、カーボンリサイクルの社会実装を進めるためには、CO₂排出者と利用者を連携させる産業間連携を進め、CO₂サプライチェーンを構築することが重要であるとされている。産業間連携を通じて CO₂の流通規模を拡大することで、将来的なコスト低減、CO₂削減効果の最大化や新産業育成による地域活性化に繋がると期待される。2025 年 2 月に策定された「第 7 次エネルギー基本計画」においても、地域の事業者等が主体となった CO₂サプライチェーンの構築を後押ししていくことが必要とされている。

カーボンリサイクルロードマップでは産業間連携の類型として「大規模産業集積型」、「中小規模分散型」、「オンサイト型」の 3 つが示されている。本事業では、CO₂排出源が日本全国に存在すること、具体的な取組の事例が少ないことを踏まえ、「中小規模分散型」を対象とする。地域環境や経済、産業の特徴を活かしたカーボンリサイクルの社会実装を促進するため、「中小規模分散型」の産業間連携において、回収した CO₂を最大限に有効利用できる CO₂サプライチェーンの構築に繋がる、実効性の高い連携手法について調査を実施する。

3. 調査内容

「中小規模分散型」に対応する特定の地域を想定し、当該地域におけるカーボンリサイクルの社会実装に向け、以下の検討を行う。検討に当たっては、当該地域における CO₂排出者と利用者の両者を実施体制に含めること。

本調査においては、CO₂サプライチェーン構築の検討を進める上で必要となるデータ（CO₂分離回収技術や有効利用技術等）の取得を目的とした、小規模な試験等を実施することも可とする。

- ・ 当該地域における環境、経済、産業の特徴を整理し、地域特性を活かした CO₂の集約・利用方法を検討
- ・ 当該地域内の CO₂、エネルギー、基幹物質等の需給バランスを踏まえた連携による CO₂削減効果と経済性、地域社会への貢献を評価し、将来的な事業展開や他地域への展開可能性を検討
- ・ 中小規模分散型の産業間連携を実現させるために必要な技術開発要素、技術開発の観点での課題の整理

4. 委員会またはワーキンググループ等の開催

専門家を含めた委員会、または、関係者によるワーキンググループ等を開催し、当該地域内の CO₂、エネルギー、基幹物質等の融通およびカーボンリサイクル事業の導入等の連携の妥当性や社会実装時の実施体制などを検討する。NEDO が開催する、採択事業者間での連絡会議に参加し、実施者は事業毎の CO₂ マネジメントに関する検討状況などについて情報提供及び情報交換を行う。

5. 調査期間

NEDO の指示する日から 2028 年 3 月 31 日まで

6. 予算額

1 件あたりの規模は、原則、以下のとおりとする。

200 百万円以下

ただし、本件公募に係る事業は、単年度会計を前提とした政府予算を財源として実施するため、政府予算の審議状況や政府方針の変更によって、採択後の実施計画および実施期間、予算規模が変更される場合があります。

7. 報告書

提出期限：事業終了時には調査報告書を所定の期日までに提出

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

8. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、必要に応じて、成果報告会や技術検討委員会等の開催を依頼することがある。

以 上